



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月6日

上場会社名 株式会社 日新 上場取引所 東・大
 コード番号 9066 URL <http://www.nissin-tw.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 筒井 博
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石山 知直 (TEL) 03(3238)6631
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	43,623	1.6	1,034	56.1	1,208	31.8	723	22.4
24年3月期第1四半期	42,931	1.7	662	△30.5	916	△18.8	591	19.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 876百万円 (31.5%) 24年3月期第1四半期 666百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	7.38	—
24年3月期第1四半期	5.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	102,447	38,676	36.9
24年3月期	100,111	38,108	37.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 37,842百万円 24年3月期 37,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	98,500	10.0	2,650	71.5	2,750	46.8	1,650	60.6	16.81
通 期	197,000	10.0	5,300	39.8	5,500	33.5	3,300	69.1	33.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	101,363,846株	24年3月期	101,363,846株
25年3月期1Q	3,153,686株	24年3月期	3,349,186株
25年3月期1Q	98,098,627株	24年3月期1Q	99,060,928株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式を含んでおります。

(25年3月期1Q 1,742,000株、24年3月期 1,938,000株)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・	4
3. 四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・	7
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
(4) セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 当期の概況

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日 以下「当第1四半期」）における世界経済は、米国経済が緩やかな回復を続ける一方、欧州における債務問題の長期化に加え、中国・アジア新興国での成長率鈍化など、減速懸念が強まりました。日本では、東日本大震災の復興需要や政府の経済政策により、景気は緩やかに回復基調をたどりましたが、海外景気減速による外需の停滞や円高の進行により、依然、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社グループでは、中国・アジアを中心に海外事業への注力を加速させるとともに、業務・組織の効率化、不動産等資産の有効活用をはかるなど、体質の強化を進めました。

当第1四半期は、東日本大震災やタイ洪水からの回復に伴う自動車生産の増加により、日本、海外ともに自動車関連貨物の取扱いが順調に推移し、業務効率化の効果もあり、欧米での収益が大きく伸長しました。また、日本での輸入業務は、海上、航空貨物ともに、堅調な取扱いでした。一方、電子部品・部材の取扱いは、当初の想定に比べ、日本発の輸出貨物を中心に伸び悩みました。旅行事業につきましては、大幅に取扱いが増加し、収益を伸ばしました。

これらの結果、海外事業の伸長及び旅行事業の回復が大きく寄与し、当第1四半期における当社グループの連結売上高は、前年同期比1.6%増の43,623百万円となりました。利益につきましては、連結営業利益は前年同期比56.1%増の1,034百万円、連結経常利益は前年同期比31.8%増の1,208百万円となり、連結四半期純利益は前年同期比22.4%増の723百万円となりました。

② セグメントの業績

イ. 物流事業

日本では、輸出海上貨物は、自動車生産の国内外での増産に伴い、四輪完成車、CKDなど自動車関連部品の取扱いは伸長しましたが、欧州景気停滞の影響等により、ソーラー関連の取扱いは低調でした。輸入海上貨物は、製材・合板関係や鋼材などの好調な取扱いが続いたほか、アパレル、雑貨、家具の取扱いが底堅く推移するなど、全般的に順調でした。

輸出航空貨物は、アジア向け自動車関連部品や中国向け電子部材の取扱いが収益に寄与したものの、円高の影響もあり、北米向け電子部材をはじめ、全般的に伸び悩みました。輸入航空貨物は、北米発の青果・生鮮・食品貨物が好調に推移しました。国内倉庫・輸送では、引き続き堺ロジスティクスセンターをはじめとした関西地区の各倉庫が高水準な稼働を続け、また、四輪完成車の内航船業務が堅調でした。

海外では、米州は、自動車関連部品の取扱いが輸出入ともに大幅に増えたほか、液晶関連の取扱いや倉庫業務が収益に寄与するなど、好調に推移しました。欧州では、自動車関連部品を中心に取扱いが伸びたことに加え、業務効率化の効果により、回復基調をたどりしました。アジアは、タイ洪水の回復に向けた自動車関連部品などの航空・海上輸出入がともに増加するなど、好調でした。中国では、電子部品・部材の航空輸入、電機関連の海上輸出等が引き続き順調に推移しました。

この結果、連結売上高は前年同期比0.2%減の31,843百万円、セグメント利益（連結営業利益）は前年同期比32.9%増の775百万円となりました。

ロ．旅行事業

企業の海外展開活発化の流れを的確に捉え、業務渡航の取扱いが北米、アジアを中心に大幅に伸張したのをはじめ、団体旅行での観光、特定目的旅行も堅調に推移しました。

この結果、連結売上高は前年同期比7.1%増の11,505百万円、セグメント利益（連結営業利益）は前年同期比162百万円増の77百万円となりました。

ハ．不動産事業

京浜地区などで展開する商業ビル、商業用地の不動産賃貸事業が安定した収益を確保するなど、引き続き堅調に推移しました。

この結果、連結売上高は前年同期比1.5%増の274百万円、セグメント利益（連結営業利益）は前年同期比10.5%増の179百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間の総資産は、投資有価証券が減少しましたが、新規借入による現金及び預金の増加や有形固定資産の取得などにより、前連結会計年度に比べ2,335百万円増加の102,447百万円となりました。

負債は、買掛金が減少しましたが、短期借入金の増加などにより、前連結会計年度に比べ1,767百万円増加の63,770百万円となりました。

純資産は、株式市場価額の下落に伴うその他有価証券評価差額金が減少しましたが、為替換算調整勘定の増加や四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度に比べ568百万円増加の38,676百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月8日発表の第2四半期連結累計期間・通期連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,801	11,022
受取手形及び売掛金	25,985	26,254
有価証券	87	87
原材料及び貯蔵品	68	69
その他	4,054	4,191
貸倒引当金	△373	△360
流動資産合計	39,625	41,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,986	53,018
減価償却累計額	△32,042	△32,497
建物及び構築物（純額）	19,943	20,521
機械装置及び運搬具	10,867	11,180
減価償却累計額	△8,732	△8,876
機械装置及び運搬具（純額）	2,134	2,304
土地	16,497	16,541
その他	3,260	3,458
減価償却累計額	△2,405	△2,508
その他（純額）	854	950
有形固定資産合計	39,430	40,318
無形固定資産		
のれん	196	178
その他	3,506	3,444
無形固定資産合計	3,702	3,622
投資その他の資産		
投資有価証券	12,216	11,539
その他	5,489	6,049
貸倒引当金	△173	△169
投資損失引当金	△179	△179
投資その他の資産合計	17,353	17,240
固定資産合計	60,486	61,181
資産合計	100,111	102,447

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,819	12,384
短期借入金	12,076	16,157
1年内償還予定の社債	600	600
未払法人税等	1,122	285
賞与引当金	1,654	1,088
役員賞与引当金	20	5
独禁法関連引当金	202	202
その他	4,886	5,676
流動負債合計	33,383	36,399
固定負債		
社債	1,800	1,800
長期借入金	20,808	19,635
退職給付引当金	1,254	1,235
役員退職慰労引当金	129	109
その他	4,626	4,590
固定負債合計	28,620	27,370
負債合計	62,003	63,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,370	4,368
利益剰余金	28,326	28,706
自己株式	△709	△668
株主資本合計	38,084	38,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,174	1,720
為替換算調整勘定	△2,948	△2,382
その他の包括利益累計額合計	△774	△661
少数株主持分	798	834
純資産合計	38,108	38,676
負債純資産合計	100,111	102,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	42,931	43,623
売上原価	36,501	36,822
売上総利益	6,429	6,800
販売費及び一般管理費	5,767	5,766
営業利益	662	1,034
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	129	126
持分法による投資利益	99	53
為替差益	75	65
その他	94	64
営業外収益合計	409	319
営業外費用		
支払利息	139	123
その他	16	21
営業外費用合計	155	144
経常利益	916	1,208
特別損失		
投資有価証券評価損	—	92
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	0	96
税金等調整前四半期純利益	915	1,111
法人税、住民税及び事業税	88	133
法人税等調整額	209	220
法人税等合計	298	353
少数株主損益調整前四半期純利益	616	758
少数株主利益	25	34
四半期純利益	591	723

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	616	758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	△454
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	155	539
持分法適用会社に対する持分相当額	17	32
その他の包括利益合計	49	117
四半期包括利益	666	876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	638	836
少数株主に係る四半期包括利益	28	39

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,913	10,747	270	42,931	—	42,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	35	63	102	△102	—
計	31,917	10,782	333	43,034	△102	42,931
セグメント利益又は損失(△)	583	△85	162	660	2	662

- (注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,843	11,505	274	43,623	—	43,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	42	129	177	△177	—
計	31,849	11,547	404	43,801	△177	43,623
セグメント利益	775	77	179	1,032	2	1,034

- (注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。